

学習絵本第7巻（新日鉄・POSCO 共同編集、日韓特別版）

『鬼とドッケビの新・モノ語り』に大きな反響

2007年4月、新日鉄と韓国の鉄鋼メーカー(株)ポスコ（以下POSCO）は、鉄づくりを中心とした日韓の文化交流の歴史をわかりやすく紹介した学習絵本を発行した。

新日鉄とPOSCOは、2000年8月に戦略的提携契約を締結して以降、各部門にて積極的に交流を進めてきた。こうした取り組みの深化・拡大に向けて、このたび両社が共同で、学習絵本（日韓特別版）『鬼とドッケビの新・モノ語り』の企画・編集を行った。

これまで新日鉄では学習絵本『新・モノ語り』（1～6巻）を製鉄所・展示会・科学技術館などで無料配布し、合計で53万5,000部を発行してきた。

第7巻目となる今回の学習絵本では、日本の製鉄技術が古代の朝鮮半島から伝わり日本で発展した歴史を、「鬼（韓国語でドッケビ）」や「福の棒（日本の打ち出の小槌に相当）」に託して、おとぎ話として伝えている。日韓両国の文化・言語に詳しいPOSCO人材開発院教授で作家の李寧熙氏の書き下ろしで、挿絵は日本在住のイラストレーター・金斗鉉氏が描いた。また日韓両国の子どもたちにお互いの文化・言語を学び日韓の友好関係を一層深めてもらう意味を込めて、日韓両国語併記とした。

絵本の読者からは、「面白く、その上両国の共通の文化を考えさせられる」「色、絵、本の装丁もすばらしく、子どもたちから次のページを早くめくってと喜ばれた」といった感想が続々寄せられている。



『新・モノ語り』シリーズ

発行月：2007年4月
発行部数：初版5万部（日本）、初版1万部（韓国）
体裁：A6判、カラー64ページ
発行者：新日鉄総務部広報センター、POSCO 弘報室

執筆 ^{イ ヨンヒ} 李寧熙氏（POSCO人材開発院教授・作家）

「鉄、国起つる」

古代より現代に至る鉄則です。したがって、歴史を洗うと必ず鉄があらわれます。しかし、史書は鉄についてはほとんど言及していません。国ごとに、製鉄は極秘に付されてきたからです。

このたび、古くからの鉄のあり方について、子どもたちと一緒にじっくり考えてみました。

人間にとって、鉄とは何なのか。特に、日本と韓国における

鉄はどのような存在だったのか。また、製鉄・鍛冶分野の技術労働者たちは、どのように待遇されてきたのか……。歴史に、そして自身に問い直しながら、一字一字丹精込めて書き上げました。

この小さな本から、友情が芽生え、「日韓」という名の大きい大きい愛の木になる日を望んでやみません。



挿絵 ^{キム トウゲン} 金斗鉉氏（イラストレーター）

韓国を代表する食材であるトウガラシはそれほど遠くない昔に日本から渡った物です。しかし、ほとんどの韓国人ははるか昔から先祖代々キムチを食べていると思ひ込んでいます。もちろん、物の流れは中国から韓国、韓国から日本が主でした。鉄もその一つ。鉄やトウガラシに足があるわけではなく、そこには人の交流があり、人の交流があるところに歴史があります。歴史をありのままに見つめることから真の友好が生まれます。

私はサントウ（ちょんまげ）を角に見立てた面白い着想を通し、怖そうな鬼の温かく優しい内面を描きました。



POSCO JAPAN 経営企画部 次長 ^{ジョン ヨンテ} 鄭然太氏

1年半ほど前から絵本の共同編集に関する検討を始めました。言葉のニュアンスや文化の相違もあり苦労しましたが、時間をかけて両社の相互理解を深め問題を解決し、今回の出版にこぎ着けました。

2000年8月に締結した新日鉄との戦略的提携は7年目を迎え、各分野での交流が進んでいます。今回の絵本共同編集をきっかけに、今後とも日韓を代表する両社が、子どもたちを含めて広く世の中の人々に対する社会貢献活動に取り組んでいくことができると考えています。



申し込み方法

学習絵本は無料で送付します。また、同時に、読者の皆さまのつながりを深める「新・モノ語り」友の会のお申し込みもお待ちしています。会員特典として、毎年発行される絵本や手帳をプレゼントします。新日鉄のホームページ、またはFAXかほかで申し込みください。

(1) WEB：http://www0.nsc.co.jp/story/ (2) FAX：03-3275-5611
(3) 官製はがき：〒100-8071 千代田区大手町 2-6-3
新日鉄 総務部広報センター 「絵本マンスリー係」
①第7巻希望部数 ②送付先住所・氏名 ③友の会入会 希望する・しない